

アンジェイ・ワイダ生誕100年記念映画上映会・講演会

アンジェイ・ワイダとタデウシュ・コンヴィツキーヴィリニユス、スヴァウキ、そして『愛の記録』



©WFDiF

開催日時：2026年5月31日（日）14：00開始（13：30開場）、17時半終了予定

場所：北海道大学文学部人文・社会科学総合教育研究棟1階6番教室

『愛の記録』（1986/ポーランド/120分）上映 / 記念講演と質疑

講演者：菅原祥 京都産業大学現代社会学部教授。京都大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。専門は文化社会学、ポーランド文化研究（とくに文学・映画）

モデレーター：小椋彩 北海道大学文学研究院北方研究教育センター

* 映画上映に際して、WFDiF（ポーランド・ドキュメンタリー・劇映画スタジオ）の許可を得ています。

* 本作品は古い映像素材を使用しており、映像・音声にノイズが入る箇所がございます。

主催：ポーランド広報文化センター、北海道大学文学研究院北方研究教育センター

問い合わせ：小椋彩 hikaru-o@let.hokudai.ac.jp

アクセス：



©WFDiF

アンジェイ・ワイダ

ポーランドの映画・舞台監督、脚本家、舞台美術家。映画界の巨匠。クラクフ美術大学を経て、ウッチ映画大学監督科を卒業。当時の社会主義体制に抗いながら、祖国の激動の歴史と人間の尊厳を鋭い描写と詩的な映像で描いた。世界的に高く評価され、アカデミー名誉賞など数々の賞を受賞。作品に『灰とダイヤモンド』（1958）など。

タデウシュ・コンヴィツキー

戦後ポーランドを代表する小説家で『愛の記録』の原作者。映画監督・脚本家としても知られる。代表作『現代の夢解きの本』の日本語訳（菅原祥訳）が本年5月に刊行予定。



©WFDiF



主催：



2026年、北海道大学は創基150周年を迎えます。



協力：

